



「介護医療院」について教えていただきました

[第9回]

# 介護医療院

訪問先 ● 鶴巻温泉病院 介護医療院



レポーター/みほこげちゃん

医療法人社団 三喜会 理事長  
鶴巻温泉病院 院長  
鈴木龍太さん

24時間、医療も受けられる介護施設



今回は、医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院の介護医療院にお邪魔しました。「介護医療院」について、理事長の鈴木龍太さんに教えていただきます。介護医療院とは、ど

このままの介護療養病床（比較的軽度の要介護者に医療とリハビリを提供）と医療療養病床（病気や加齢などが



鈴木 ● 昨年4月から開設できるようになった新しい介護施設です。

どのような施設なのでしょう？

原因で長期の療養が必要な人に医療を提供）に代わる介護施設で、「生活」を医療が支えるという点特徴といえます。病院のなかにありますが、介護施設なので介護保険の対象となります。

医師の常駐も決められており、医療が必要な要介護者に適した施設です。

—— 介護医療院にはI型とII型があるようですが、この違いは何ですか？

鈴木 ● I型は、医療の必要度が比較的高く、容態が急変するリスクがある人が対象です。II型は、医療の必要度はさまざまですが、容態は比較的安定している人が対象です。そのためI型は、入所者48人に対して1人の医師がい

なければなりません。II型の場合は、24時間いるわけではありませんが、100人に対して1人の医師が必要であり、電話で呼ばれた場合には、いつでも駆けつけられるようになっていきます。

当介護医療院はI型です。病院のなかにあるので、いつでも医療が受けられ、看取りもはっきりできます。

—— 介護医療院を利用するメリットやその魅力を教えてください。

鈴木 ● 日本の医療のシステムでは、医療が必要でも、その程度が低い人は長く入院することができなくなっています。しかし、介護医療院が生まれたことで、そうした人たちの受け皿ができました。医

療が必要な要介護者が安心して暮らせる場所ができたという点が魅力であり、メリットです。



医療が必要な高齢者に安心しました。

療が必要な高齢者に安心しました。

### 介護保険制度とは……

高齢化が進むなかで増えてくる、介護が必要になった高齢者を社会全体で支えるためのものです。65歳以上で要支援・要介護の認定を受けていれば、介護保険サービスを受給できます。利用者の所得に応じて、介護保険サービスの費用の7～9割を負担してくれます。（40～64歳でも条件を満たせば利用できます）

### 要介護度とは……

寝たきりや認知症などで常時介護を必要とする状態を「要介護状態」、家事や身支度などの日常生活に支援が必要で、特に介護予防サービスが効果的な状態を「要支援状態」と言います。この程度を要介護認定で判断します。要介護度の区分は要支援1・2、要介護1～5です。

**DATA**  
 医療法人社団 三喜会  
**鶴巻温泉病院 介護医療院**

〒257-0001  
 神奈川県秦野市  
 鶴巻北1-16-1  
 TEL.0463-78-1311

撮影=羽切利夫



1994年生まれ。2016年度ミス鎌倉。慶應義塾大学看護医療学部卒業、看護師資格を持つ。2018年にアイドルグループを卒業。現在はアイドル活動に加えて、ラジオパーソナリティやMC業を中心にインコ活動をしている。仏像・お寺の魅力を広げるために精力的に発信を続けている。  
SNSアカウント：@mihotoke\_chan



職員ルームでは、看護師や介護職の皆さんが入所者の状態や様子を共有していました。とても和やかな雰囲気です



病棟と介護医療院の境も一目でわかるようになっています

### 職員インタビュー



介護医療院で看護科長を務める青木美穂さんに、お話を聞いてみます。働いているなかで感じる介護医療院の魅力は何でしょうか？



青木 ●要介護度が高い方も多くいますが、一人ひとり

### 入所者・家族インタビュー

入所者のご家族(娘)・窪田さんに、お話を聞いてみます。介護医療院を利用してどれくらいですか？ また、日々どのように過ごされていますか？



窪田 ●介護医療院の利用は、今年4月からです。も

ともと鶴巻温泉病院の医療療養病床に入院していたので、約12年間お世話になっていました。介護医療院になってからは、それまで以上に自宅のように過ごせています。毎日、父の顔を見にきていますが、

### 介護医療院「鶴巻温泉病院」ってどんなところ？

鈴木 龍太さん  
鶴巻温泉病院 院長



#### 痰の吸引などの医療的ケアも受けられます

医師が24時間常駐していたり、オンコール対応できるようになっているので、痰の吸引や胃ろう\*など、医療の必要度が高い人も安心して入所できます。

#### リハビリをすることも、在宅復帰をすることもできます

長期入所や終の棲家としての利用が可能です。また、リハビリをすることで心身の機能が改善すれば、在宅復帰をすることもできます。

#### 看取りもできます

医師がいつでも対応できるので、その判断のもと看取りをすることもできます。

#### 知っておいてください！

I型とII型、どちらを利用するかについては入所者の状態や施設の体制次第です。入所者やそのご家族が選べるわけではありません。

窪田 ●24時間、医師の方がいることに安心しつつ、自宅の

お二人がテレビで野球の試合を見て過ごしている様子

一緒に野球を見たり、付属の温泉で足湯や手湯をしたり、日光浴をしたりしています。

利用していてよかったと感じるのは、どのようなときですか？

働くうえで大切にしていることを教えてください。

看護師の方や介護職の方が、入所者やご家族の前でも、職員同士で話をするときでも、和やかな雰囲気笑顔

の「生活」を大切にできることが魅力です。入所している方にとってもお部屋も一人ずつ区切られて、自分の家具や大切にしている物なども持ち込める点は、メリットだと思います。

けられるように、職員みんなで考え、ケアしていることです。本人のしたいことや食べたい・飲みたい物を聞き、できるだけかなえられるように、日々のケアを工夫します。



「元氣ですよ」と教えてもらうより、直接会って自分「あ、今日も元氣だな」と感じるほうが、安心できる」と話す娘さんの笑顔が印象的でした



要介護度が高い方が多いと聞いていましたが、自分で食事をしている方も多くいました。おいしいですか？

が、本当に自宅のリビングでくつろいでいるようでした。

を絶やさないう姿が印象的でした。

\* □からの食事が困難になった人が、おなかにつくられた「小さな口」を通じて胃から直接栄養を摂取すること